

# JB新聞

2月25日(土)  
2023年(令和5年)  
発行所:横浜市瀬谷区阿久和南4-12-6  
**Cafe JB**  
☎ 045-442-5557  
**Moto/Car**  
☎ 045-442-5590  
じゃんぼ洗車センター  
☎ 045-812-6400  
<https://cafejb.com>

## Cafe JB 新登場! クラムチャウダー



冷えた体に温かいスープがしみわたる時期。クラムチャウダーを見かけるとついつい買ってしまふのは私だけだろうか。とつても好きなのでメニューに追加してみた。

実はクラムチャウダーの中でも、白いポストンクラムチャウダー(ニューイングランドクラムチャウダー)と、赤いマンハッタクラムチャウダーの二種類があるのをご存知だろうか。日本でも人気のポストンクラムチャウダーは、ミルクベースのスープが特徴。一方あまり馴染みがない赤いクラムチャウダーは、クリームではなくトマトベースのスープ。ポストン風に比べるとさらっとして、貝入りのミネストローネのようなもの。ニューヨークのマンハッタが発祥で、今でもニューヨーク中心に親しまれている。一説によると、マンハッタにはイタリア系の入植者が多かったことから、トマトベースに発展したとか。

クラムチャウダーに入れる貝。日本ではアサリを使うのが一般的だが、本場アメリカでは、ホンビノス貝というハマグリよりもさらに大きな二枚貝を使用しているようだ。クラムチャウダーのクラムは英語で「大鍋、煮込み」などを指す。これは「大鍋、煮込み」などの意味をもつフランス語からきている。シチューと比べると貝が小さく、とろみも少ないが、一般的なスープと比べると貝がたっぷり入っていて、とろみがある。つまりスープとシチューの中間に位置する料理と言えそうだ。

二枚貝の入ったクラムチャウダー以外にも、フィッシュユチャウダー、コーンチャウダー、ビーンチャウダーなど、様々な種類がある。Cafe JBで提供するのは、ポストン風クラムチャウダーだ。ミルクベースのこつてり濃厚な味わいのスープに、貝を始め、野菜や豚肉の汁が効いた一品。是非お召し上がりいただきたい。通りとろける舌触りが自慢。季節を問わず楽しめる味わいなので、ぜひお試しを。記事:風香

### 7 FM YAMATO 77.7MHz くらさんの今日もツーリング日和



2月18日放送のくらさんの今日もツーリング日和「Motorcycle Friendship」バイクの輪のゲストは、山陰ライダーズクラブ 種子 晋司

前回のフラット商會代表長石康彦さんのご紹介で種子晋司さんにご出演いただきました。鳥取県東伯郡在住。東伯ガス産業株式会社社長、他土木・食品会社を経営。現在63歳。バイクに乗るきっかけになったのは、友人们が乗っていたことから。現在の愛車は、BMW R1250GS F700GS、CAJOGT、CB310R、HONDA レブル250、カブC110。他多数所有。所属クラブは前回ゲストの長石さんと出会った42年前に山陰ライダーズクラブに入会。その後、モトクロスにもハマる。なぜバイクに乗るのかの質問には、『楽しいからです、走るのも大好き、人と会えるのも大好き、爽快感。』と明るく語る種子さんが会長を務める株式会社へ(あこートビウオ)を販売中。「鳥取旨いもん100」も受賞された商品なのでぜひお試しを。地元観光協会副会長も務める種子さん、県外からのお客様をおもてなし、車検・車両整備は、カフエにて受付中!

くらさんの今日もツーリング日和は毎週土曜日20時ON AIR中!

くらさんの今日もツーリング日和 毎週土曜20時放送! WGPチャンピオン、レーサー、200人以上の出演からスマホQRコード放送! ※アプリ不要

### Moto/Car カフェとは?

カフエレサーが生まれたのは2000年頃のイギリス。この頃イギリスは経済が思わしくなく職にあぶれたり不本意な仕事をせざるを得ない若者が多かった事で、反抗心が高まっていた。その結果として生まれboomとなったカウンターカルチャーがモッズとよばれるもの。ペスパやランプレッタなどいわゆるスクーターをベースにミラーやライトを限界まで装着するカスタム。2000年代前半はそんなモッズにハマる若者が急増していたわけですが、その一方で同じ様に社会に対する反抗心は持ちつつも「モッズは軟弱者のスタイルだ」と共感しない若者の集団がいた・・・それが「ロツカース」。名前の由来はロツクンロールを愛してやまない事から。リーゼントを決めて革ジャンと革パンにエンジンブーツ。そしてバイクはNorton、Triumph、BSAなど

のスポーツバイクをベースにレーサーの様なカスタム。同じカウンターカルチャーながらモッズとは大きく異なるスタイル。そしてそんなロツカースの溜まり場だったのが24時間営業の「FACE CAFE LONDON」というカフェ。ロツカースは「速い奴がカッコいい」という単純明快なルールが設けられておりモッズが夜な夜なクラブで遊ぶのは対照的にカフエ間の競争や「ジュークボックスレース」というてジュークボックスの再生と同事に決められたコースをどれだけ早く走って帰って来れるか、曲をタイムレコード代わりにして競争するのが日課だった。この事から「カフエレサー」という名前が付いたとされている。時は流れ、カフエレサーはヤがてカスタムのジャンルからバイクのジャンルへ派生した。現在でも様々なメーカーから純正でカフエレサースタイルのバイクが発売されており、有名所というところPRIMPHのストラクストンRなどはメーカーが作り上げた生粋のカフエレサー。元々ストリートで生まれたスタイルが今ではメーカーがカフエスタイルのバイクを発売するほど世に浸透して色んなライダーを虜にしている。記事:オイル交換・タイヤ交換 車検・車両整備は、カフエにて受付中!